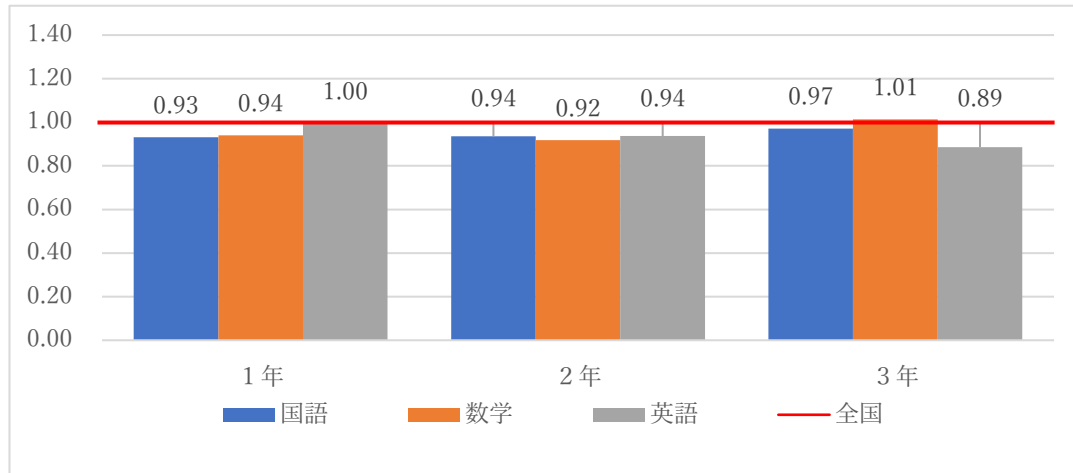


令和5年度 全国学力・学習状況調査及び学習到達度調査について
第二中学校区 第二中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は学習到達度調査、中学3年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

学習到達度調査	国語	「文章を書く」と「漢字の書き取り」において目標値を大きく下回っており、書くことを意識した授業展開を進めていく。
	数学	基礎的な計算では目標値を上回っていた。グラフの読み取りやデータの活用などの分野に課題が見られたので、資料を分析する課題に今後取り組んでいく。
	英語	リスニングは概ね目標値であった。活用において、目標値を大きく下回ったため、簡単な英作文から繰り返し取り組んでいく。
全国学力・学習状況調査	国語	「話すこと・聞くこと」領域は大阪府の平均を越えており、今後も生徒同士で学び合える取組の充実を進めていく。
	数学	「数と式」「データの活用」領域は全校平均を越えていた。課題である「図形」「関数」は、重点的に多くの問題に取り組んでいく。
	英語	すべての領域で全国平均より4～6ポイント下回っていた。授業で生徒の活動時間を増やし、英語力全体の底上げに取り組んでいく。
	質問紙	「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」の項目で全国平均を大きく上回っていた。引き続き授業及び学習活動において、ICT機器の効果的な活用法を模索していきたい。

○学力向上の取組

【中学校区】

- ・寝屋川方式の学習を基に、毎回の授業に対して「真心の授業」を実践する。
- ・校区学力部会で各種学力テスト及び質問紙等の分析を行い、結果と課題を共有する。
- ・分析結果を利用した課題克服の手立てを共有し、主体的な学習者の育成をめざす。
- ・家庭学習の定着と自主学習の推進に取り組む。
- ・校区3校の公開授業を実施し、9年間のカリキュラムに基づく教科指導の充実を図る。

【学校】

- 「真心の授業」を合言葉に、生徒と生徒、生徒と教員をつなぐ授業に取り組んでいる。全授業でICT機器を積極的に活用し、主体的で対話的な深い学びのある授業の実施に取り組んでいる。
- ・数学科について→3年生は、習熟度別授業を実施。1、2年生は少人数教育支援人材や学力向上支援人材をTTとして支援。
 - ・英語科について→2年生及び3年生は習熟度別授業を実施。